

2025年4月4日

関係各位

千代田化工建設株式会社

**Pilot Energy Limited 向け西オーストラリア州 CO<sub>2</sub> サプライチェーン構築に関する  
実現可能性調査業務の受注について**

千代田化工建設株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:太田 光治、以下「当社」)は、Pilot Energy Limited(本社:オーストラリア、Chairman:Brad Lingo、以下、「パイロット社」)より、西オーストラリア州において同社が計画するCO<sub>2</sub> サプライチェーン構築に関する実現可能性調査業務を受注しましたのでお知らせいたします。

本実現可能性調査業務はパイロット社が主導するもので、South 32 Worsley Alumina Pty Ltd (本社:オーストラリア、CEO and Managing Director:Graham Kerr)が保有するアルミナ設備から排出される年間約70万トンのCO<sub>2</sub>を回収し、パイロット社がCliff Head Carbon Storage Project\*において計画する貯留サイトへのCO<sub>2</sub>貯蔵についての調査を実施します。

この実現可能性調査では、当社が陸上設備スコープを担当し、液化CO<sub>2</sub>海上輸送サービスプロバイダーであるKnutsen NYK Carbon Carriers AS(本社:ノルウェー、CEO:Oliver Hagen-Smith)が、海上輸送スコープを担当します。

当社は総合エンジニアリング会社として、カーボンニュートラル社会の実現に向け、プラントの設計・調達・建設のみならず、自社での技術開発等、多方面から事業に取り組んでいます。これらの事業を通じて、当社のミッションである「エネルギーと環境の調和」を目指して、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

**【参考】**

パイロット社によるプレスリリース (2025年2月21日付)

<https://www.pilotenergy.com.au/sites/default/files/asx-announcements/61252492.pdf>

\* Cliff Head Carbon Storage Project は Mid West Clean Energy Project の一部であり、パイロット社が所有する西オーストラリア州にある既存のCliff Head製油所を利用して、CO<sub>2</sub>回収とクリーンアンモニアの輸出を目指すプロジェクト。本プロジェクトは国際エネルギー機関・温室効果ガスR&Dプログラム(IEAGHG)の以下の報告書で取り上げられました。

**Managing the transition of depleted oil and gas fields to CO<sub>2</sub> storage**<https://ieaghg.org/publications/managing-the-transition-of-depleted-oil-and-gas-fields-to-co2-storage/>

以上

---

この件に関するお問い合わせ先 :IR・広報・サステナビリティ推進セクション 池尻、宮崎

Email: [chiyoda\\_pr@chiyodacorp.com](mailto:chiyoda_pr@chiyodacorp.com)URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>